

4. トラブルとその対応事例

4－1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別（C. 機器動作不良）

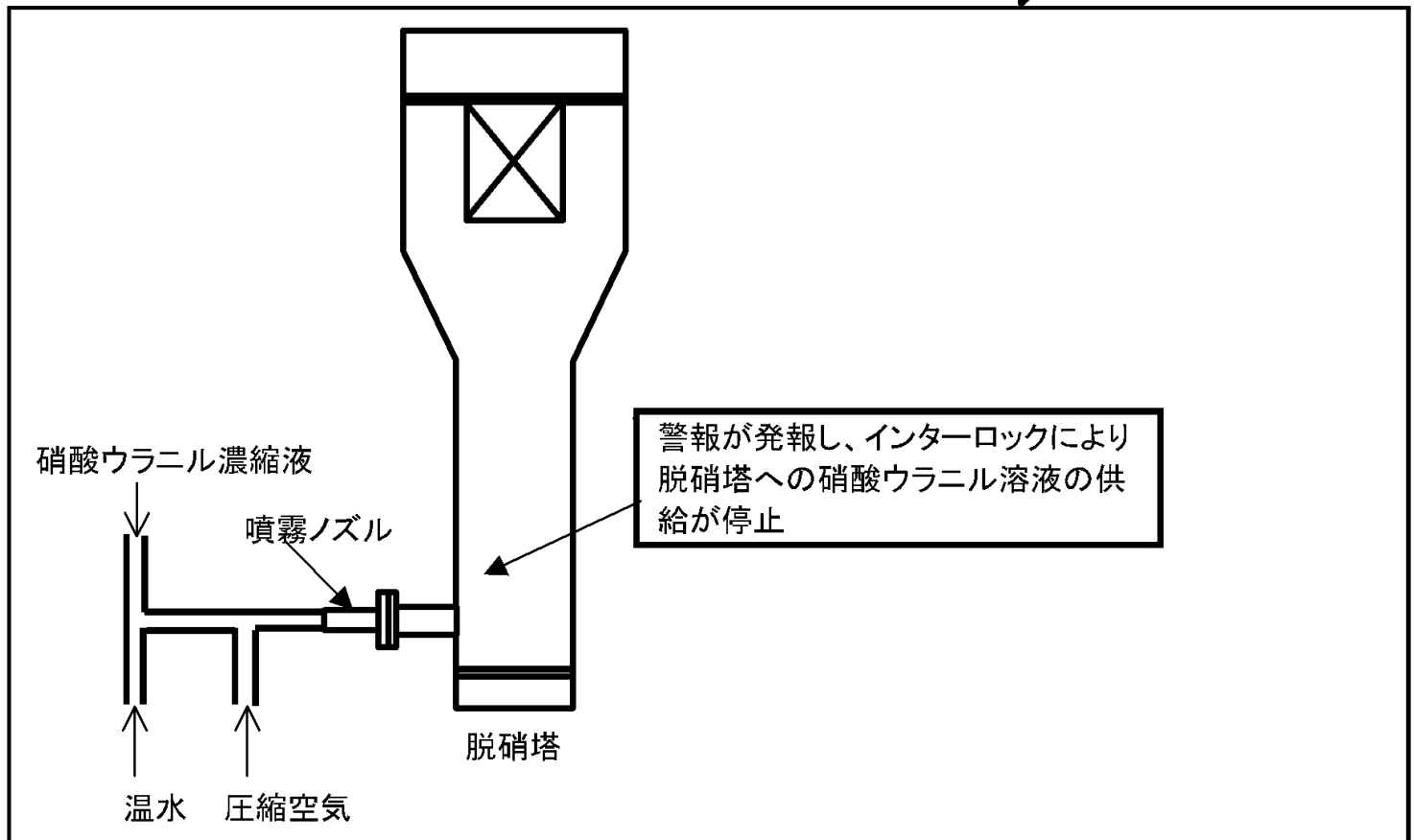
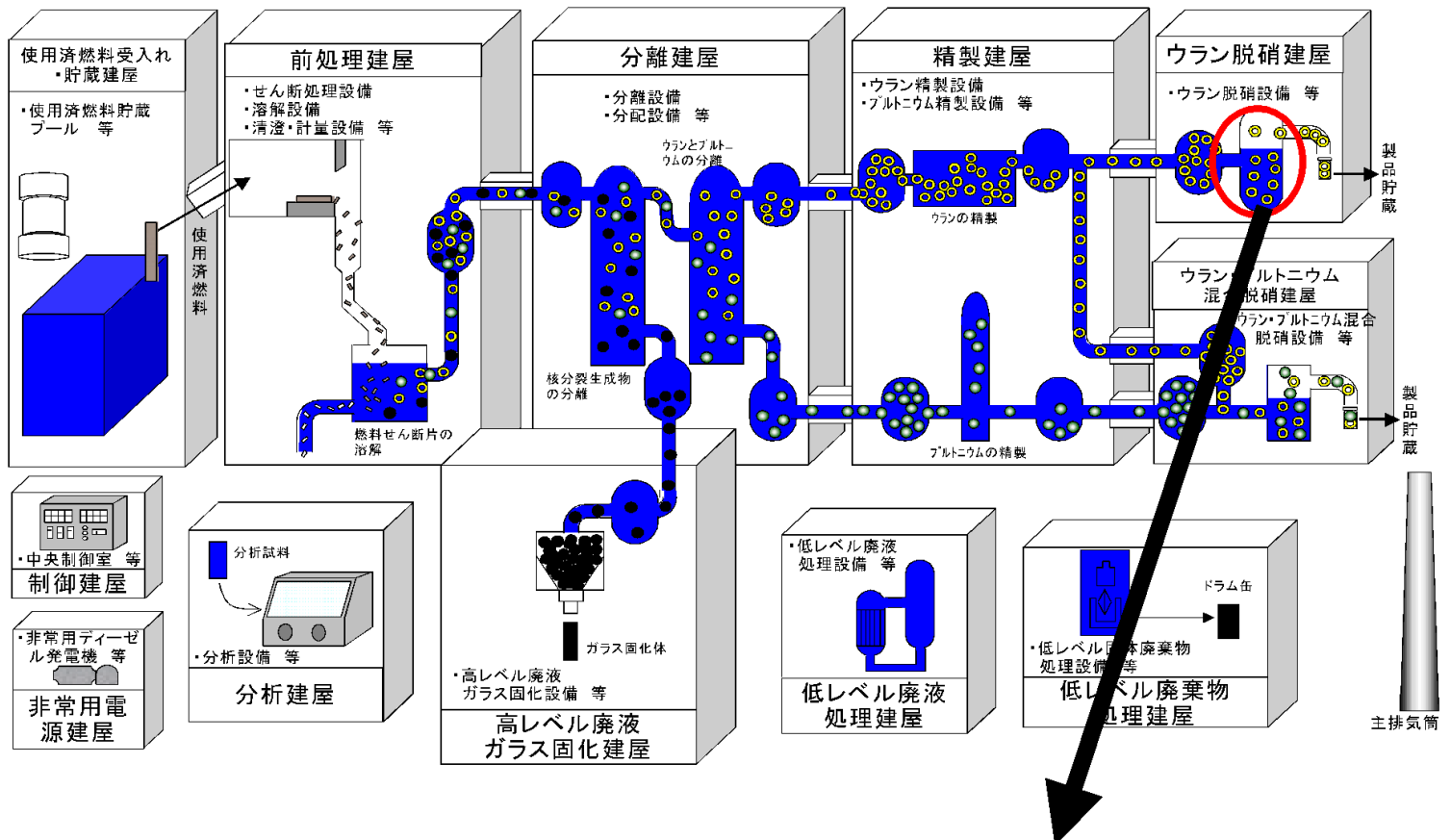
3 -49. 制御盤スイッチの誤触による警報の発報

事象の概要																		
(1)発生場所：機器	ウラン脱硝建屋：脱硝塔																	
(2)設備の概要	ウランの溶解液を噴霧状態にて乾燥し、ウラン粉末にする装置。																	
(3)発生の状況	脱硝塔運転中																	
(4)概要	ウラン脱硝塔の運転中に、制御室の操作員が脱硝塔加熱ヒータの温度制御情報を確認するため、操作画面を開いたままにしていたところ、その制御盤上で別の操作員が過去のデータを確認するため書類（ファイル）を開いた際、手動モードへの変更部分を誤触し自動制御から手動モードに切り替わり、温度低の警報が発報し、脱硝塔への硝酸ウラニルの供給が停止。 ＊ 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。																	
(5)原因	操作員による操作画面への誤接触。																	
事象による影響																		
(1)工場外への影響	工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有するウラン脱硝建屋の塔槽廃ガス処理設備が稼働している脱硝塔内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。																	
(2)安全性への影響	安全上の問題は生じない。 インターロックにより硝酸ウラニルの供給を停止（処理を停止）することから、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。																	
(3)作業員への影響	作業員への影響は生じない。 事象は脱硝塔内部で発生し、かつ正常状態の復旧は放射性物質を直接扱わないため、作業員への影響は生じない。																	
(4)他工程への影響	他工程への影響は生じない。 硝酸ウラニルの供給再開は、数時間で実施出来るため、上流の工程との中間にある一時的な貯留槽の残液量が十分であることから、他工程への影響は生じない。																	
対応の概要	1.温度制御状態を手動モードから自動モードに切り替える。 2.通常運転に戻すため温水供給から硝酸ウラニル供給に切り替える。 3.運転状態の監視を継続する。																	
公表区分	毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）																	
連絡区分*	<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>						トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報															
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等													

＊：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

251

事象概要



復旧方法

定められた操作手順に従い復旧操作をして復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

当該設備を停止して復旧

